

関連文化財群

『豊川市文化財保存活用地域計画』では、市域に点在する様々な文化財を地域の歴史文化の特性と関連付け、一定のまとまりとして捉えた6つの関連文化財群を設定しています。中部中学校区域の関連文化財群は下記のとおりです。

関連文化財群③ 市域で形成された大江定基伝承

ストーリー	平安時代中期に三河国司であった大江定基 ^{おおえのさだもと} に因む伝承が、財賀寺にあります。出家のきっかけとなった力寿を弔うために舌根寺が建立され、＜県＞木造宝冠阿弥陀如来坐像はその本尊であったと伝えられています。江戸時代には財賀寺の住職によって力寿碑が建てられ、傍らの桜は力寿の桜として地域の人々に親しまれています。	
関連文化財群の主な構成要素	● 力寿碑 ● 力寿の桜 ● 力寿山舌根寺	● ＜登＞財賀寺文殊堂 ● ＜県＞木造宝冠阿弥陀如来坐像

関連文化財群⑤ 戦国時代から江戸時代までの支配の変遷を語る文化財

ストーリー	戦国時代には、牧野氏などが台頭しましたが、のちに今川氏、ついで松平（徳川）氏の領国支配に組み込まれました。江戸時代には、市域は一大名による一元的な支配を受けない非領国地域でした。校区でも、財賀村以外の村々は幕府領・藩領・旗本領など度々支配が変遷しています。	
関連文化財群の主な構成要素	● ＜国＞八幡宮本殿 ● ＜市＞今川義元安堵状・牧野成敏寄進状	● ＜登＞八所神社本殿・拝殿 ● ＜国＞財賀寺仁王門・本堂内厨子 ほか

関連文化財群⑥ 豊川海軍工廠と豊川市

ストーリー	豊川海軍工廠の開廠にともない、工廠周辺には関連施設が建てられ、地区内には水道施設や寄宿舎などがありました。昭和20（1945）年8月7日の空襲による被害から免れた施設は、戦後の豊川市の復興を助け、現在のまちづくりを支えています。 豊川市では、平成30（2018）年6月に豊川海軍工廠跡地の一部を公園として整備し、残存遺構の保存活用を行っています。	
関連文化財群の主な構成要素	● 千両配水場の配水池	● 豊川海軍工廠残存遺構・土塁と排水路

文化財保存活用区域 古代三河国の首府

ストーリー	地区内には三河国分寺・国分尼寺が建てられるなど、古代三河国の政治・文化・経済などの中心地として栄えていました。平成17（2005）年度に供用を開始した三河国分尼寺跡史跡公園は、地域のシンボルとして親しまれ、毎年9月には「天平ロマンの夕べ」を開催しています。今後は三河国分寺跡の整備を行い、古代三河国の首府として重点的に保存活用を進める区域としています。	
関連文化財群の主な構成要素	● ＜国＞銅鐘（国分寺） ● 上ノ蔵遺跡 ● 国分寺北遺跡	● ＜国＞三河国分寺・三河国分尼寺跡 ● 伊知多神社遺跡 ● 鳥居強右衛門生誕地碑（松永寺） ほか

様々な取組主体

三河国分尼寺跡史跡公園 ボランティアガイド

平成17（2005）年度の開園に合わせてボランティアガイドを養成し、来園者へのガイド活動を行っています。
多くの市民に史跡公園を知ってもらうために「天平ロマンの夕べ」や小学生を対象とした体験講座などを協働で実施しています。

豊川海軍工廠語り継ぎボランティア

平成30（2018）年度の開園に合わせて語り継ぎボランティアを養成し、見学者に公園内や平和交流館内のガイド活動を行っています。
「折り鶴に平和の祈りを」など豊川海軍工廠での出来事を伝えるための事業を協働で実施しています。

八幡町内会

＜国＞三河国分寺跡の草刈や「天平ロマンの夕べ」などを協働で行っています。
近年では、西古瀬川の河津桜を守る活動にも積極的に取り組んでいます。

①＜国＞財賀寺仁王門



文化財防火査察

⑧三河国分尼寺跡史跡公園



天平ロマンの夕べ

⑤＜国＞三河国分寺跡



小学校6年生見学事業

⑩豊川海軍工廠平和公園



折り鶴に平和の祈りを

豊川市文化財保存活用地域計画 【中部中学校区】 令和7年 豊川市

自然的・地理的環境

中部中学校区は、豊川市の中央部北側に位置し、北辺の山地は一部で岡崎市と接しています。南域には、山地に続く扇状地とその下の平地が東西に展開し、主に扇状地から平地にかけて居住地となっています。

交通網では、（主）国府馬場線（姫街道）と（主）東三河環状線が交差して幹線道路の結節地となっているほか、名鉄豊川線が通じ、八幡駅を中心とした新たなまちづくりが進められています。

歴史的環境

西古瀬川の流域には、後期旧石器時代の遺跡が点在し、古くから生活が営まれていたことが分かっています。奈良時代には、国分寺・国分尼寺が置かれたことで古代三河国の文化的中心地として栄え、山林寺院である財賀寺も、平安時代にはすでに開かれていました。また、『今昔物語集』には犬頭神社の由来と伝えられる史話がみられます。

八幡宮や財賀寺は、戦国時代に市域に勢力を広げた牧野氏や今川氏など武家の尊信を集めました。江戸時代には、東海道の脇往還である本坂通（姫街道）が通じ、校区内で別れて鳳来寺や秋葉山へ向かう鳳来寺道・新城街道は庶民の参詣の道として利用されました。

近代の豊川海軍工廠の開廠は当区域に大きな影響を与え、なかでも工廠建設にともなって整備された千両配水場は、戦後に豊川市へ引き継がれ現在に至っています。

歴史文化の特性

古代に三河地域の文化的中心地となり、多くの文化財が伝えられています。近代には、豊川海軍工廠の影響を受けつつ、歴史文化を育んできた地域といえます。

文化財の概要

校区の指定文化財等は、45件です。三河国分寺・国分尼寺跡や社寺が所有する彫刻、今川氏や牧野氏に関する書跡などです。豊川市史や既存の文化財関連調査、市民を対象に実施したアンケート調査から把握した未指定文化財（歴史文化資源）は、63件あります。



⑪犬頭神社



⑨伊知多神社



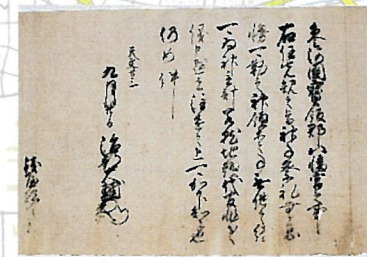
⑥国分寺



④八幡宮



⑤松永寺



③星野神社



②力寿碑と力寿の桜



①財賀寺



⑧三河国分尼寺跡史跡公園

⑦三河天平の里資料館



⑥国分寺



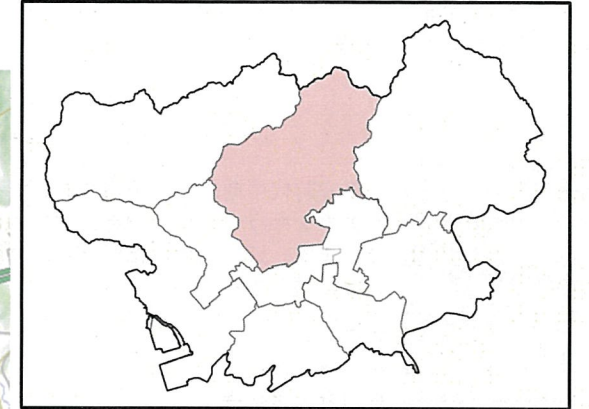
⑤松永寺

④八幡宮

③星野神社

②力寿碑と力寿の桜

①財賀寺



種別		国指定等	県指定	市指定	合計	未指定文化財等
有形文化財	建造物	8	0	1	9	1
	絵画	0	0	2	2	0
	彫刻	1	4	4	9	3
	工芸品	1	1	0	2	5
	書跡・典籍	0	0	14	14	0
	古文書	0	0	0	0	3
	考古資料	0	1	0	1	6
	歴史資料	0	0	0	0	5
小計		10	6	21	37	23
無形文化財		0	0	0	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	1	1	2
	無形の民俗文化財	0	0	2	2	3
	小計	0	0	3	3	5
記念物	遺跡	2	0	1	3	12
	名勝地	0	0	0	0	0
	動物・植物・地質鉱物	0	0	2	2	14
	小計	2	0	3	5	26
文化的景観		0	—	—	0	1
伝統的建造物群		0	—	—	0	0
その他 (市独自の設定)	史話と伝承	—	—	—	—	5
	工廠遺産	—	—	—	—	3
合計		12	6	27	45	63